

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

進行する高齢化、女性の未婚率と労働力が増加 ～平成17年国勢調査結果報告書より～

<http://www.city.yokohama.jp/me/stat/index.html>
Web ページ上に4月1日から掲載します。



人口総数

全国一の人口

横浜市の人口

3,579,628人

平成17年10月1日現在の横浜市の人口は3,579,628人で、主要都市（東京都区部及び政令指定都市）の中では東京都区部に次いで第2位、市としては全国一位の人口となっています。また、前回の平成12年に比べ、152,977人（4.5%）増加しており、この増加数は神奈川県人口増加数（301,623人）の50.7%を占めています。

行政区別では、都筑区（15.4%増加）や中区（12.4%増加）で高い増加率となっています。

年齢別人口

進行する高齢化

高齢化率

16.9%

平成12年に65歳以上人口（老年人口）と15歳未満人口（年少人口）の人口比が逆転し、平成17年には高齢化率（65歳以上人口の割合）が16.9%となり、高齢化がさらに進行しています。

全国平均と比較すると、横浜市は年少人口の割合が0.2ポイント、老年人口の割合が3.2ポイントそれぞれ低く、反対に生産年齢人口の割合が2.9ポイント高くなっています。

配偶関係

女性の未婚率上昇

5歳階級の女性の未婚率

25～29歳

5.5ポイント増

30～34歳

4.8ポイント増

15歳以上人口を配偶関係別にみると、有配偶率は男性が58.9%、女性が59.4%、未婚率は男性が34.0%、女性が24.7%となっています。女性の20歳代後半から30歳代前半の未婚率が大きく上昇しており、25～29歳が5.5ポイント、30～34歳が4.8ポイント上昇しています。

50歳未満の年齢階級別未婚率を全国平均と比べると、平成17年では、女性の30～34歳と35～39歳を除き、いずれの年齢階級においても本市のほうが高くなっています。

労働力状態

女性の労働力人口が増加

平成 12 年からの増加率

7.4%

労働力人口を男女別にみると、男性は 1,129,077 人、女性は 705,246 人で、労働力人口全体に占める割合は男性が 61.6%、女性が 38.4%となっています。平成 12 年と比べると、男性が 2,964 人 (0.3%) 増加したのに対し、女性は 48,291 人 (7.4%) 増加しています。

夫婦の労働力状態

共働き世帯が増加

共働き世帯の割合

38.0%

夫婦のいる一般世帯の就業状態の推移をみると、夫が就業、妻が非就業の世帯は 342,823 世帯 (夫婦のいる一般世帯の 39.7%) で、平成 12 年に比べ 27,824 世帯 (7.5%) 減少しています。一方、夫婦とも就業の世帯は 327,789 世帯 (同 38.0%) で、25,773 世帯 (8.5%) 増加しています。

従業上の地位

臨時雇が増加

臨時雇の人数

227,376人

15 歳以上就業者数を従業上の地位別にみると、雇用者は 1,570,667 人 (15 歳以上就業者の 90.4%)、自営業主は 128,373 人 (同 7.4%)、家族従業者は 37,449 人 (同 2.2%) となっています。

雇用者のうちの臨時雇は 227,376 人 (同 13.1%) となっており、平成 12 年と比べると、臨時雇は 32,779 人 (16.8%) と大幅に増加しています。

従業・通学時の世帯の状況

高齢者のみ在宅世帯が増加

高齢者のみ在宅世帯の増加率

28.4%

平成 17 年の住宅に住む一般世帯 140 万 4039 世帯のうち、世帯員が通勤・通学中に在宅者が「高齢者のみ」になる世帯が 26 万 8921 世帯 (住宅に住む一般世帯の 19.2%) であり、平成 12 年に比べると、5 万 9412 世帯 (28.4%) 増加しています。